

受動的崩壊熱除去

受動的崩壊熱除去 じゅどうてきほうかいねつじょきよ

原子炉停止後の崩壊熱の冷却には、通常原子炉冷却系統、原子炉冷却材ポンプ故障に備えた崩壊熱除去系（余熱除去系）などが設置されている。しかし、これらの機能は機械設備なので、安全設計上、動的機器の作動がともなっている。受動的崩壊熱除去は動的機器に頼らず崩壊熱を除去できる原子炉固有の安全機能である。例えば高速炉では、大型のガードベッセルが付いているので、炉容器内の炉心の液面と流路は確保でき、炉容器内でナトリウムの自然循環によって崩壊熱除去が可能である。この自然循環のように動的機器によらない崩壊熱除去を受動的崩壊熱除去という。

<登録年月>
1998年01月
